

第7節 6日目：5月2日（木）新水俣～たのうら御立岬公園、肥後二見～八代 晴れ

本日の日程に頭を悩ませる。すべては、4月30日の雨が大きく影響している。色々考えたが、経費等から考えて、本日で肥薩おれんじ鉄道を踏破終了するのが効率的と判断する。本日の宿は、熊本の東横インなので、八代への到着時間も考慮しなければならないのに加え、たのうら御立岬公園への到着時間も。本日の予定は下記の通り。相当ハードな歩きとなろう。

新八代 7時49分 → バックを八代コインロッカーに預ける

八代 7時58分 → 新水俣 9時5分

9時5分から16時24分まで

新水俣からたのうら御立岬公園の歩き (23.7km)

たのうら御立岬公園 16時24分 → 肥後二見 16時35分

肥後二見から八代まで歩き (13.7km)

八代 20時46分 → 熊本 21時24分



新八代駅



東横イン



新八代駅



本日も4時頃、起床し本日の準備をする。昨日は朝食を摂らなかったが、本日は7時より撮ることにする。ホテルを25分頃出る。駅には八代駅でも見られた妙見祭のシンボルの絵が飾っていた。色々駅で写真を撮る。ホームには35分頃到着する。福岡在住の高尾さん

に私の方から話かける。鉄道関連のカメラが趣味で、今回人吉の方にこれから向かうとのことであった。私の趣味についてもお話する。非常に興味を持って頂く。互いに写真を撮りあう。私も夢があるが、高尾さんも大きな夢あり。八代駅で拍手して別れる。



新水俣駅

八代駅では、学生が沢山おり進めず。しかし、駅前でコインロッカーに荷物を預ける。料金は400円であった。新水俣までの料金は1,380円だった。予定通り、7時59分の電車に乗れる。学生が肥後高田駅で沢山降りる。9時6分、新水俣駅でおれんじ食堂車と対面する。



新水俣駅

9時15分。前方に白山のような山（実家近くの山）があった。風冷たし。9時17分、新幹線下を潜る。9時25分、門司から275km地点に到達。その前方に新幹線が頭上に現れる。9時34分、薬コスモスの店を見つける。9時38分、津奈木町に入る。10時2分、「ようこそ津奈木町へ」の看板あり。直ぐ傍に熊本中央信用金庫があった。10時10分、駅舎がとんがり帽風の津奈木駅（アクチュアリー友人の実家界限）には、10時10分到着。



白山のような山

津奈木駅

駅前には、馬を引き連れた子供の姿の像があった。ここから湯浦駅までは、肥薩おれんじ鉄道で最長の営業キロ区間の 8.7 km であった。10 時 26 分、津奈木小学校の看板があった。10 時 36 分、熊本 84 km、八代 42 km、芦北 11 km の道路標識があった。10 時 42 分、万年池のりば産交バス前を通過。10 時 58 分、上門バス停前通過。11 時 8 分、千代塚バス停前。千代塚は孝女の像があった。11 時 20 分、高台から右手に鉄道が見える。少し安堵する。11 時 23 分、峠バス停を通過。11 時 32 分、522m ある津奈木トンネル越えとなる。私の万歩計で 698 歩だった。トンネルを越えると民家が現れる。直ぐ近くにレールが見える。12 時 2 分、3 人の自転車野郎が私を追い越して行く。12 時 10 分、前方に白山のような山（香川実家界隈の山）が現れる。



津奈木トンネル

12 時 11 分、内野小学校入口前を通過、ホテルの里の表示もあった。12 時 13 分、前方頭に新幹線が現れる。12 時 22 分、八代 35 km、熊本 77 km の道路標識があった、12 時 26 分、柳ヶ丘団地入口バス停を通過。湯浦がある交差点のガソリンスタンドで、タイミングよく、湯浦駅の道筋をお伺いする。「前方の交差点を曲がり、踏切を越え鉄道に沿った先に湯浦駅があります」との回答を得る。広瀬橋を渡る。12 時 36 分、宮崎踏切を横切り、鉄道も右側を歩く。12 時 43 分、湯浦駅に到着。駅前には旧式の郵便ポストがあった。



内野小学校入口



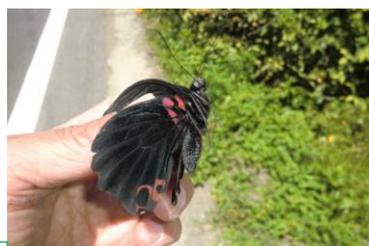
湯浦駅

12 時 51 分、今度は湯の町踏切（単線）を横切る。12 時 55 分、湯浦川に沢山の鯉のぼりを見かける。68 歩ある湯町橋を渡る。湯の浦橋を渡る。13 時 11 分、黒い羽根の蝶が道路でばたばたしていたので、拾い上げて木の上に置いてあげる。少し行った先で門司から 261

k m地点を通過。13時20分、湖のような川のような続く道筋を歩く。13時50分、お食事処「きらく」でとんかつ（800円）を注文する。しかし、20分位待たされイライラしてくる。非常に精神状態の悪い長い長い待ち時間であった。先を急いでいるので、出てきたとんかつも半分位しか手をつけず。ひれであったが、非常に硬いとんかつであった。木々に囲まれた佐敷駅には14時6分到着。



鯉のぼりの大群



湖のような川



佐敷駅

14時13分、100歩ある白岩橋（佐敷川）を渡る。14時26分、1,570mある佐敷トンネル（2,449歩）を通過する、所要時間は19分要する。トンネルを越えると、海浦駅（14時55分）であった。この駅も近くの住人に来てタイミングよく聞いて踏破できる。駅は高台にあり分かりにくいところにあった。この駅のクリアはラッキーであった。ボールペンの調子が悪くなる。15時5分、265mの海浦トンネルを通り抜ける。15時10分、門司から254km地点通過。15時29分、肥後田浦駅に到着。ここで一句。「肥薩路や 知恵を授かる 鯉のぼり」



佐敷トンネル



海浦駅



肥後田浦駅

15時45分、田浦川を越える。15時53分、たのうら御立岬公園駅に到着。16時24分まで30分の余裕で到達した。ジョギングしたことや、湯浦駅や海浦駅がスムーズにクリアできたからだろう。時間に余裕があったので、散歩がてらに来た年配の方にたのうら御立岬から上田浦までの道筋を聞いたところ歩きでは大変とのこと、行けるかいなかの結論まではでなかった。機会があればリベンジしたいものである。(2023年8月上越線、2024年2月日南線を踏破し、迂回の大変さを骨身に強く感じる。)



たのうら御立岬公園駅



肥後二見駅

16時24分の電車(270円)で肥後二見まで移動する。肥後二見駅には16時35分到着。
16時52分、食堂車が私を追い越して行く。16時56分、八代の街並みが見えてくる。17時、門司から240km地点に到達する。17時5分、高速道路下を通過。17時13分、鉄道を横切り、左側に出る。17時18分、複雑な交差点に入る。17時30分、日奈久温泉街前を通る。立て看板の上部が回っていた。日奈久温泉駅には17時43分到着。



日奈久温泉



日奈久温泉駅

聞き方が悪かったのか、引き返す場面も生じる。5分ロスする。18時33分、バス停丸山を通過。18時37分、門司から234km地点に到達。18時45分、セブンイレブン(八代敷川内町店)で3色ペンとアイスを購入。18時53分、八代ドライビングスクール前を通過。やっと肥後高田(こうた)駅には19時5分到着。



門司まで234km地点 肥後高田駅

辺りは暗くなり、記録をとるのに制限あり。19時18分、八代市立第五中学校前を通過。19時38分、1,023歩ある新萩原橋を渡る。煙突を目指し歩く。19時55分、肥薩おれんじ鉄道の終着駅である八代駅には、予定よりも早く、19時55分に到着。



八代駅

雨の影響もあり、肥薩おれんじ鉄道（116.9 km）の踏破に延べ4日間要する。海と山が絡む風光明媚な鉄道であった。それ故、駅舎立ち寄りの旅は、相当の戦略を要するコースであろう。地形から大きく2つに識別できる。川内～阿久根（30.7 km）と阿久根～八代（86.2 km）の区間である。前者は比較的平野で、後者は山間と浦との混合である。すなわち、後者の歩きには骨がおれた。一方、鹿児島と熊本エリアからでは、川内～袋（61.5 km）が鹿児島県、袋～八代（55.4 km）が熊本県と識別できる。今回地形で勉強となったのは、浦・浜・岬の違いである。浜はフラットの感じ、浦は山がすぐ傍にある感じ、岬はトラックの感じと自分なりに整理できた。

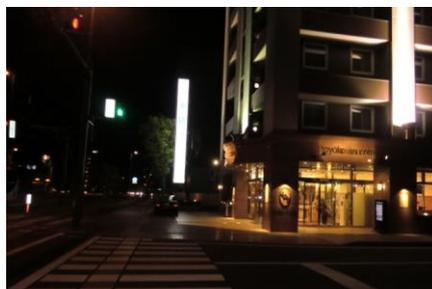


熊本駅：鳥栖行

熊本ラーメン

八代20時12分発の鳥栖（とす）行の電車（運賃は720円：ワンマン）で熊本まで移動し、熊本東横インを向かう。なお、鳥栖駅（佐賀県）は長崎や佐賀につながる鉄道の中継点である。所要時間は37分。なお、熊本には20時49分着。熊本駅の駅ビルにある「まるうまラーメン」で、熊本ラーメン（600円）を頂く。とても美味しい味であった。21時18分、東横イン熊本（804号室）に到着。この東横インビルは27階立てで、熊本市では2番目の高さとのことであった。駅前には、鹿児島と同様市電が走っていた。熊本東横インは

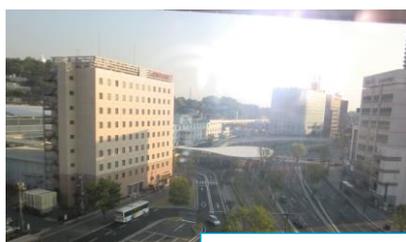
これまでの利用が 10 枚となり無料券で宿泊できる。本日の営業キロは、37.4 k m、万歩計は 67,731 歩だった。



熊本駅 東横イン

第8節 7日目：5月3日（金）：有佐～熊本 晴れ

本日の4時頃目が覚め、ロビーでI p o d の充電後、本日の作戦を練る。本日の夕方、東横イン西鉄久留米で19時、大学時代の友人緒方昭則氏と待ち合わせている関係で、本日の有佐～熊本踏破にも時間的な制約があり、プレッシャーを感じる歩きとなった。7時前にロビーで朝食を摂ろうとしたところ、大阪出身の女子高校生ハンドボール部の群団と対面し、朝食を摂るのに時間を要する。ホテルを7時23分に出る。荷物を熊本駅のコインロッカー（400円）に預ける。7時38分発の電車の有佐駅へ。



東横インからの風景 東横イン



熊本駅

パスモなので運賃はわからず。有佐駅には8時4分着。8時13分、有佐郵便局あり。JR線の右側は、JR線の沿った道がない感じなので引き返す。地元の人に聞いてよかった。5分位ロストする。少し戻り、JR線の地下道を通り、鉄道の左側を歩く。鉄道に沿った道が続いていた。8時28分、223歩ある野津橋（氷川）を渡る。8時38分、蓮華草畑、8時48分、キャベツ畑を見つける。ここで一句思いつく。「春の旅 思いめぐらす 親の恩」



有佐駅

9時8分、立川踏切を横切り、鉄道の右側へ。9時16分、ビニールハウスが見える農道を歩く。9時24分、農道の両脇にはビニールハウスがあり。9時31分、木が印象的な土手にぶつかる。土手を歩いて迂回するのに10分要する。万歩計で1,139歩あり。この土手から八代駅前の煙が小さく見える。9時43分、118歩ある砂川橋を渡る。9時48分、泳いでいない鯉のぼり前を通過。10時、白百合保育園前を通過。この前で、散歩中の五匹の犬と対面する。10時5分、栄寿司前を通過。10時17分、本日最初の小川駅に到着。



野津橋

相当の迂回を余儀なくされる



小川駅

10時34分、県立小川工業高校前を通過。11時、蓮華草畑を通過。11時14分、国道3号線宇城市竹崎という道路標識あり。11時32分、宇城市立豊福小学校前を通過。11時25分、「うつくしいゴミのない町（宇城市）」の道路標識があった。ここから松橋駅（まつばせ）の踏破には骨が折れる。ジョギングしながらの歩きとなる。11時55分、松橋高校前を通過。大勢の人に聞いて、やっと松橋駅には12時15分到着。



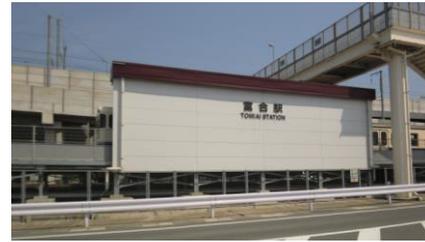
松橋駅

12時25分、県道14号線（八代鏡宇土線不知火町御陵）前を通過。12時41分、道路標識に久留米に地名が初めて現れる。12時51分、左700m位先に新幹線があり、鹿児島方面に向かう列車を見かける。12時56分、花園踏切を横切り、鉄道の左側となる。この踏切越えがミスなので、第2松山橋でリカバリーする。数回ピストン運動。13時20分、松原歩道橋を渡る。新幹線が背後にある宇土駅には13時31分到着。



宇土駅

13時43分、門司から201km地点に「熊本13km 久留米86km 福岡121km」とあった。13時45分、新幹線車庫前を通過。2両の新幹線（6両編成）が停車していた。13時55分、門司から200km地点に到達。道路標識では熊本まで12kmとあった。案内板がはつきりせず、行き過ぎて5分位ロスタイムした富合駅には14時11分到着。



富合駅

ここから川尻駅への踏破も何人かの人に尋ねてクリアできる。14時21分、3号線に戻る。14時26分、167歩ある浜戸川橋を渡る。14時33分、258mある緑川橋(421歩)を渡る。14時47分、216歩ある加勢川を渡る。14時47分、本日もおれんじ鉄道の食堂車と対面する。八代方面に向かっていた。このシリーズ、この車両と強い縁を感じた。4月29日(月)～5月3日(金)の5日間毎日どこかで対面したからである。新幹線が背後にある川尻駅には、15時2分到着。



浜戸川橋

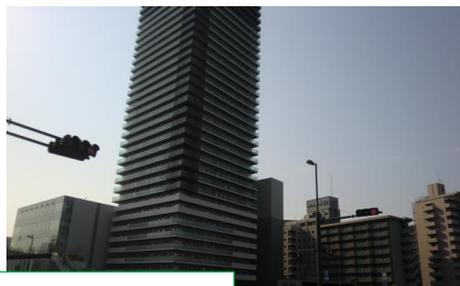


川尻駅



後は5.3km先の熊本駅である。ここからもジョギングしながらの歩きとなる。15時27分、丸亀製麺前を通過。この近くで、道路標識で大分、阿蘇の地名と対面する。15時36分、門司から193km地点に達する。15時40分、高速道路が上にある平田交差点を通過。15時48分、JR線を下にする。その先に「しまむら」や「ケースデンキ」があった。16時5分頃、島原出身、元警察官の佐藤さんと対面する。10分位歩きながら世間話をする。「熊本一高いビルを目印に行けば熊本駅に着きます」とのことであった。白川橋の手前で

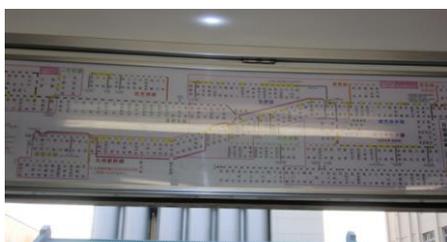
お礼を言って別れる。16時16分、白川橋（167歩）を渡る。10m位歩いた先に春日橋（坪井川）を渡る。この橋の近くに熊本一高いビルがあった。熊本駅前で記念写真を撮ってもらう。熊本駅には16時25分到着。ジョギングのお蔭で30分位早く到着でき、予定より一つ早い電車に乗ることができる。コインロッカーから荷物を取り出し、熊本発16時37分の海老津行の電車（運賃1,600円）で久留米に向かう。5番ホームから出る。久留米には18時14分到着。窓から、これから踏破する沿線を勉強する。概ね平野部分を電車が走っている感じであった。ただし、木葉（このは）近郊は山間であった。



白川橋 市内で一番高いビル



熊本駅



JR 九州路線図 久留米駅



久留米駅から東横イン久留米西鉄口までタクシーにて向かう。東横イン（516号室）には18時45分到着。19時前に友人の緒方君から電話あり。丁度エレベーターの中だった。隣

にある美膳（びぜん）で2時間位2年振りに旧交を温める。この店は「焼きとり炭火焼」のこの店で店内は満席状態であった。予約していないとなかなか入れないとことであった。彼は、私がとりを嫌いなことを忘れていたらしい。しかし、焼き鳥屋であっても、鳥以外の料理も多々あり、安堵する。赤霧島を賞味する。カッシー館の話、ボランティア活動の話等であつという間に2時間が過ぎ去る。彼から博多どんたく祭りについて情報を得る。それで、明日は西鉄線の踏破に切り替える。西鉄は高校の先輩（中西 太氏）が大活躍した西鉄ライオンズの御膝元で縁を強く感じた。



美膳

東横イン

2次会は、ホテルのロビーで30分位歓談。10時頃別れる。本日の営業キロは26.9km、万歩計は57,869歩であった。これで、鹿児島=熊本がつながる。営業キロは201.9kmである。充実した一日であった。また、緒方君との懇談は、思い出に残る一日となろう。

第9節 8日目 ; 5月4日 (土) : 花畑～久留米～小郡 (西鉄)

本日で7泊8日の旅は終わり。長いようで短った。本日の4時半過ぎに目が覚める。本日の作戦を練る。朝食の前に、散歩も兼ね、緒方君の最寄り駅である花畑駅を踏破しようと思いつく。西鉄久留米から花畑まで往復で営業キロは1.8kmであった。西鉄久留米駅を5時39分出発し、花畑駅には5時54分到着。



東横イン 西鉄久留米駅



花畑駅

この間の鉄道は高架となっていた。西鉄久留米駅からほぼ直線上にあったため、何となく駅舎が見える状態であった。途中、道路を2から3個横切る。帰りは反対側を歩いて西鉄久留米駅へ。6時5分、途中セブンイレブン(久留米天神町店)に立ち寄り、牛乳を購入。ホテルには6時25分に戻る。7時少し前に行ったら、数名の方が並んでいた。昨日の熊本のようなことはなかったが。朝食を済ませ、ホテルを7時40分チェックアウト。次のような歩き。

花畑 (0.9 km) → 西鉄久留米 (0.9 km) → 櫛原 (1.2 km)
→ 宮の陣 (2.8 km) → 味坂 (3 km) → 端間 (2 km) → 西鉄小郡



朝の久留米市



美膳 東横イン



西鉄久留米駅



櫛原駅 西鉄の電車

西鉄久留米駅窓口で小郡までの道筋とカッシー館や中西先輩のPRをしてからの歩きとなる。櫛原駅には8時10分到着。8時13分、宮の陣4号踏切を横切り鉄道の右側を歩く。8時30分、639歩ある宮の陣橋（筑後川）を渡る。宮の陣駅には8時42分到着。



筑紫川

宮の陣駅

8時49分、鉄道下を潜る。鉄道の右側を歩く。8時54分、小郡の道路標識があった。9時2分、実家の同じような風景となる。麦やキャベツそしてビニールハウスがあった。右手は川土手が続いていた。9時16分高速下を潜る。後で確認したところ、今回未踏破となった味坂駅がこの近辺であった。気づかず進む。9時35分、239歩ある今朝丸橋（宝満川）渡る。10時9分土手に出る。端間（はたま）駅には、10時21分到着。



宝満川



端間駅

10時26分、小郡12号踏切を横切り、鉄道の左側を歩く。10時31分、東レメディカル（株）九州支店前を通過。天気にもかかわらず、雨をぽつり感じる。小郡駅まで若干続く。

ただし、止むが。西鉄小郡駅には 11 時到着。11 時 5 分の電車で福岡（天神）に向かう。途中で急行となる。電車の中で昼寝。天神駅には 11 時 42 分到着。



西鉄小郡駅



西鉄福岡駅

博多どんたく祭り会場に向かう。沢山の人が見物に来ていた。途中、西日本新聞の会場があった。11 時 53 分、博多どんたくお祭り本舞台に向かう。20 分位見学して、12 時過ぎ会場を後にする。博多の地下道は初めてでわからず。数人の方に聞いて、地下鉄空港線に辿りつく。博多駅には 12 時 35 分到着。緑の窓口で、新横浜までの乗車券 (13,130 円)、岡山から高松までの往復乗車券 (2,940 円)、そして博多から岡山までの特急券 (5,420 円) を購入する。のぞみ 176 号 (博多 13 時 50 分→岡山 15 時 39 分：6 号車 E 席) が取れる。新幹線乗車までの時間を利用しお土産 (4,120 円) と昼食を摂る。地下街の印度カレー (950 円：カツカレー+サラダ) に入る。





博多駅

のぞみ 176 号で岡山駅へ。運よくマリンライナーが 2 分遅れていた関係で、岡山発 15 時 42 分の電車に間に合う。高松駅から琴電の高松築港駅まで歩き、16 時 40 分発の電車 (430 円) で井戸駅に向かう。実家に 17 時 43 分到着。母親が押しずしを用意してくれていた。本日の営業キロは 10.8 km、万歩計は 26,453 歩であった。これで 7 泊 8 日の旅は無事終了

する。今回の鉄道営業キロは、212.7 kmであった。雨の影響で予定が狂ったが、まずまずの成果を上げられ、天や神、そして家内、会社に感謝したい。



博多地下商店街



博多駅 高松築港駅